



認定特定非営利活動法人

# RASA-Japan ニュースレター

理事長 藤井 典夫

〒468-0014 名古屋市天白区中平2-2627 Tel/Fax 052-803-1649

ホームページ <http://rasa-japan.com> e-mail [info@rasa-japan.com](mailto:info@rasa-japan.com)

郵便振替 口座番号 00890-4-31185

受取人 特定非営利活動法人RASA-Japan

三菱UFJ銀行 平針支店 普通 0037025

トクティヒエイリカソドウハウジンラサジャパン

2020.12  
Vol.35

## クラウドファンディングに挑戦します！

新型コロナに翻弄された1年も残りひと月となりました。本年もRASA-Japanの活動にご支援をいただき、誠にありがとうございます。コロナ禍で活動が制限される中、皆様に支えていただき深く感謝申し上げます。

RASA-Japanでは「資金不足」と「コロナ禍」の影響を大きく受け、2021年学校建設は断念せざるを得ませんでした。また、現地のインフレによる建設費高騰と寄付金減少による資金不足の問題もあり、このままでは2022年も建設することができなくなります。(詳細は裏面へ➡)

そこで、2022年の学校建設を目指してクラウドファンディングに挑戦することを決意しました。

クラウドファンディングとは、インターネットを通して多くの方に活動を発信することで、団体の資金を募る仕組みです。クラウド(群衆)とファンディング(資金調達)を組み合わせた造語です。



学校建設費として750万円必要ですが、現在RASAの建設資金が335万円しかありません。不足分の415万円をクラウドファンディングで支援を募ります。クラウドファンディングの手数料として目標金額の17%を支払いますので、差し引くと必要額の415万円となるよう、目標額を500万円と設定しました。

しかし、「All or Nothing方式」の仕組み上、**来年2月5日までに目標金額500万円に1円でも到達しないと不成立**になってしまいます。それまで集まった支援金は、クラウドファンディングサイトからご支援いただいた方々に返金され、RASAは受け取ることができなくなるため、**学校建設をすることができません**。コロナ禍の影響で大変な状況ではございますが、ご理解のうえご協力をいただければ幸いです。

**目標金額500万円を達成できますよう、ご支援をよろしくお願いいたします。**

コロナ禍でも活動継続を！

フィリピンの子供達に安全な校舎を届けたい



### ◆実施期間

2020年12月1日(火)～2021年2月5日(金) 23時

### ◆目標金額

**500万円**(クラウドファンディング手数料85万円含む)

※ご支援金は全額学校建設費として使用いたします。

### ◆支援方法

クレジットカード、銀行振込



【詳しい内容やご支援はこちらから】

<https://readyfor.jp/projects/RASA-Japan>

※インターネットでの寄付が難しい方向けに、RASAでは**代理支援**を行っています。

ご質問やご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。(052-803-1649)

## 学校建設事業の継続の危機

毎年、皆様からの会費・寄付金で学校建設をしています  
が、インフレによる学校建設費の高騰(3年前の1.4倍)と  
会費・寄付金が減少傾向にあり、**差額をRASAの手持ち  
資金で補っている現状です。**



コロナ禍で活動が制限され、資金不足に拍車がかかり  
ました。そのため、建設資金に目途が立たず、フィリピン  
の新型コロナウイルス対策(ロックダウン)もあり、2021年  
の学校建設は中止せざるを得ませんでした。

しかし、建設予定校はニュースレター33号(4月)で  
紹介させていただいた、教室不足のため第2次世界  
大戦時の倉庫を校舎として使用している、早急に新  
校舎が必要な学校です。

移動式黒板だけで5教室に仕切っているため、全クラ  
スの声が響き、先生の声が聞こえず、**集中して授業を  
受けることができない教室でした。**



耐震工事の振動にも耐えることができない老朽化  
した倉庫のため、**倒壊の危険性が高く**、また地盤が  
道路より30cm低いいため、雨水や汚水が浸水して、  
**台風や雨、地震の影響でいつ使えなくなっても  
おかしくない状況です。**

地盤が低く嵩上げ工事費が必要で建設費が高額と  
なるため、例年の校舎とは違う2階増築不可の平屋  
3教室(トイレ無)を見積依頼すると750万円となり、  
クラウドファンディングで建設資金を募り、2022年に  
学校建設を実現させたいと考えました。

フィリピンではコロナ禍で貧困の格差が広がり、  
教育環境がさらに劣悪になることは避けられません。  
だからこそ、**「学校建設」は継続していかなければ  
ならない支援**だと強く感じ、継続を目指してクラウド  
ファンディングに挑戦します。

## フィリピンの現状－給食支援－

34号(7月)でお知らせしましたが、新型コロナ感染で  
新学期は2か月遅い8月開始の予定でした。児童は  
登校できず、在宅でオンライン及びモジュール式によ  
る授業とし、過半数以上のIT環境がない家庭の児童  
はワークシートを配布、回収方式での開始予定でした。

ところが外出規制を緩和した結果、以前より爆発的な  
感染のため外出監視規制で更に延期され、10月開始  
となりました。数人の先生が新方式授業の準備で登校  
する程度で、学校は閑散としています。指導プリントは、  
児童の親か近所の人ボランティアとして教えることに  
なり、教育成果を知る事が難しいのです。コロナ禍で  
貧富の格差が教育の格差に比例して、貧しい人に  
一番大きな悪影響が及ぼされることとなります。

学校長と給食支援で何度もメールをやり取りしまし  
たが、児童の登校が不可能で、給食支援ができない。  
調理人やヘルパーさんの雇用はできない、活動を  
管理をする担当の先生が決まっています。また、  
支援対象児童の選択もできません。何とか支援の

方法として食品の配布を考えましたが、配布する対象  
児童を選ぶことや食品の購入、保管、分配準備、児童  
宅への配布作業の担当を決められない…このコロナ  
禍で活動することは最終的に無理とわかり、今年度は  
給食支援を中止せざるを得ませんでした。

学校長から、RASAへオンライン授業が受けられない  
児童に配布する各教材の印刷用紙や印刷インク、ス  
キャナ機器などの購入資金の支援依頼がありました。  
状況から何とか応えたいと思い、公的機関に相談しま  
した。「支援出費はRASAの定款に書かれている活動  
に限る。それ以外の活動に対して出費できない。定款  
にうたっていない活動支援は総会を開き、定款変更を  
して承認後、活動内容を変更しなければならない」と  
の指示で要望には応えられませんでした。

「手を貸す運動Ⅱ」から頂いている1回目給食支援  
活動支援金は、そのまま保有しております。学校は  
2020年10月～2021年7月までの10ヶ月が新年度となり、  
残念ながら給食支援はできない現状です。

# コロナ禍はRASAにも大きな障害

## 学校建設事業への影響

2021年の建設活動は中止せざるを得ません。建設候補地はブラカン州のバラグタス・セントラル小学校に決定しています。建設資材高騰と地盤強化工事で、資金が大幅に不足します。クラウドファンディングで資金調達を見込み、現地業者のみで建設作業を行います。ボランティア派遣はいたしません。見通しでは、2022年2月の建設着工(5月竣工)を予定しています。

## 給食支援への影響

2020年10月現在、フィリピンの学校は授業開始の見込みが立っていません。児童はもちろん、教職員さえも登校禁止の状態が続いています。2021年7月末までオンラインでの授業を進めることになっているそうで、児童も先生も登校できません。RASAの給食支援活動も授業再開まで自動的に中止となります。給食支援の活動資金の支援者である「手を貸す運動Ⅱ」の代表 佐藤正明様ご夫妻を10月15日に訪問して、ご支援の感謝とフィリピンの現状と今後の見通しなどを報告し、ご了解を頂きました。

## ボランティア派遣事業

ボランティア派遣は、学校建設事業と給食支援事業それぞれと連動しています。双方ともコロナ禍の影響で渡航ができないため、中止を余儀なくされました。

## ボランティア活動後の動き

2月19日に学校建設活動を終えて、帰国しました。本来なら3月の帰国反省会に始まって、次年度のボランティア参加者募集のためにビラやポスター、DVDの作成と大学授業での説明会の実施と続き、10月末の締め切りに向けた一連の活動を推進していたはずですが。しかし、総て中止せざるを得なくなりました。

## 「第2回 RASA同窓会」中止

今まで「学校建設」と「スタディーツアー」に参加されたボランティアの方々を対象にしました「同窓会」を11月23日に開催予定でありました。幹事諸君の努力にも拘らず、やむなく中止に追い込まれてしまいました。懐かしい人との再会を期待していましたが、この楽しみも奪われてしまいました。

## フェスタ・ジュニーナの中止

ブラジルで6月に盛大に行われる聖人を祝う祭りです(例年、豊田スタジアムで開催)。中部地区に在住のブラジルの方々が家族総出で参加し、3,000人以上が集います。RASAも顧問のドミンゴス教授の尽力で、多くの学生が毎年参加します。会場ではボランティア参加の新旧学生が出店や販売で協力し、交流にもなっています。野外ミサ後、松浦司教様も参加されるイベントや踊りの抽選会などが行われ、国籍を超えた親睦がみられる素晴らしい催事ですが、今年は中止で残念です。

## 活動資金確保について

RASAの活動資金はご承知のように個人、団体、グループの皆様からの寄付金と支援金です。各種助成金も積極的に応募しています。しかし、何といたってもご支援者の寄付金が一番多いのですが、それも高齢化の影響を受け、ご寄付の金額も件数も減少傾向にあります。その対策として、トップページでご紹介いたしました「クラウドファンディング」に取り組むことにいたしました。クラウドファンディングの目標金額を達成することで、フィリピンの劣悪な教育環境改善ができるのです。RASAのクラウドファンディングを一人でも多くの参加を友人知人に呼びかけていただき、目標達成のためにご協力、ご支援の輪を広げていただくように強力な呼びかけをお願いしてください。

## 持続化給付金の申請

当局に申請中です。いくつかクリアしなければならない関門があります。決定に向けて頑張ります。



## 「手を貸す運動Ⅱ」代表 佐藤様を訪問して 理事 藤井 忠子

2015年から現在まで栄養失調児の給食支援に支援金をいただいている「手を貸す運動Ⅱ」代表の佐藤様に直接お顔を合わせてお礼を申し上げたく、10月15日に藤井理事長、山本理事、私の3名で訪問しました。現在91才で、御夫妻で長年協力してご活躍されています。

2014年秋に東京・町田教会を訪問して以来、毎月交信を持ちつも、6年目の再会です。当時、2011年の学校建設中に現地PTAの懇願に応え、Seland前理事長が自己資金で始めた給食支援でしたが、もともと予算は皆無で、継続していくための資金確保に苦慮しました。2度の助成金申請で支援を繋ぎましたが、支援継続のために安定して資金を如何に得るか、方策をSeland前理事長と合議しました。結果、佐藤様に協力を依頼して、東京・町田教会で大勢の方々に講演や映像を用いて、支援の必要性を訴えました。佐藤様のアピールとご尽力で、翌年から毎年200万円を超す栄養失調児への支援が実施できております。佐藤様の「命の続く限り頑張る！」とのお言葉、「歩んでこられた歴史と生きる姿勢」にただただ頭が下がります。

佐藤様は世界中の必要なところに支援を続けてこれ、41年！その活動資金を自ら準備されてきました。趣味の絵画作品「花や実」の数百枚の作品が可動式壁面に全作品を何時でも見られるように収め、毎年季節の花等の素晴らしい絵のカレンダーの制作販売やコンサートやイベントの開催など、本当に年中ご苦労されてきました。更に支援者とのきめ細かなつながりを大切になさっていることも学びました。この活動がメキシコ、ナイジェリア、シエラレオネ、フィリピンのカトリック系のシスターが働かれる、貧困地域の子どもの奨学金や給食支援の活動源となっているのです。

3時間余りの短い時間でしたが、御夫妻のエピソード、ご活躍の様々な工夫やご苦労されたこと等学ぶことがばかりで、本当に充実した有意義な時間を持つことができました。



この場をお借りして、私が深い感銘を受けた、佐藤様のお書きになった文面を皆様にご紹介させていただきます。

### 『なぜご自分が支援を続けているのか』

小学6年だったある日、私は担任の先生から「佐藤お前も中学校に行かないか。」と奨められました、ところが家に帰ってそれを話すと、父母の答えは「とんでもない！お前だけ中学になんかやれるか！」でした。9人兄弟の貧乏農家。人生最初の挫折でした。私は己が境遇を恨み、中学(旧制5年生)を泣く泣くあきらめ、尋常高等小学校を卒業するや否や命の引換とも考えず、海軍特別少年兵に志願しました。しかし敗戦。復員した翌年から昼は働き、夜は定時制中・高校で学びました。しかし、1948年19才の時カトリック教会で洗礼を受けると、退職金を全部はたいて、大学のドイツ哲学科に入学。金が尽きたら1年だけでいい。自分の生き方を確かめたいと願って哲学科を選びました。しかし神様は私を見捨てず、恩人に引き合わせて下さいました。そのカナダ人はやもめでしたが13人の子を育て、まだ可能だと私を14番目の子とみなし学費を援助してくれたのです。それから故シスター根岸からシエラレオネの少女の援助を頼まれた時私はもう大学教員になっていました。だから私はその少女を昔の自分に重ね、恩人の恩を思っすぐ援助を引き受けその後も教育支援を続けてきたのです。

### 今後の活動予定

コロナ禍で活動が制限されておりますが、2022年の学校建設実現を目指して、クラウドファンディングで目標金額を達成できるように頑張っ参ります。

RASA-Japanは皆様の会費と寄付金で運営されています

ホームページ

<http://rasa-japan.com>



@rasa\_japan



@rasa.japan



@rasa\_japan

